

請求の範囲

- [請求項1] 施設を利用する利用者のデータを管理するデータ管理システムであって、
- 前記利用者の施設への到着時間を予測する到着時間予測手段と、
- 予測された前記到着時間を基準に、前記利用者の認証に用いられる認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録する登録手段と、
- 前記利用者の前記施設からの退出時間を予測する退出時間予測手段と、
- 予測された前記利用者の前記退出時間以降に、前記認証データを前記記憶装置から削除する削除手段とを備えた
- ことを特徴とするデータ管理システム。
- [請求項2] 登録手段は、予測された到着時間になったときに、利用者の認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録し、
- 削除手段は、予測された退出時間になったときに、前記認証データを記憶装置から削除する
- 請求項1記載のデータ管理システム。
- [請求項3] 登録手段は、利用者の生体情報を認証データとして取得する
- 請求項1または請求項2記載のデータ管理システム。
- [請求項4] 利用者の生体情報を取得する生体情報取得装置と、
- 取得した生体情報の特徴量を計算する特徴量計算手段と、
- 計算された特徴量と、ローカルの記憶装置に記憶された認証データとを照合する照合手段とを備え、
- 前記照合手段は、前記ローカルの記憶装置に記憶された認証データと、計算された特徴量とが一致する利用者が存在する場合、当該利用者の認証に成功したと判断する
- 請求項3記載のデータ管理システム。
- [請求項5] 登録手段は、利用者の認証データと共に当該利用者の決済に関する

情報である決済情報を外部装置から取得し、

削除手段は、認証データとともに前記決済情報を記憶装置から削除する

請求項 1 から請求項 4 のうちのいずれか 1 項に記載のデータ管理システム。

[請求項6] 退出時間予測手段は、利用者が施設に入場後、当該利用者の動線分析結果または決済後の規則性に基づいて、退出時間を予測する

請求項 1 から請求項 5 のうちのいずれか 1 項に記載のデータ管理システム。

[請求項7] 施設を利用する利用者のデータを管理するデータ管理方法であって、

、
前記利用者の施設への到着時間を予測し、

予測された前記到着時間を基準に、前記利用者の認証に用いられる認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録し、

前記利用者の前記施設からの退出時間を予測し、

予測された前記利用者の前記退出時間以降に、前記認証データを前記記憶装置から削除する

ことを特徴とするデータ管理方法。

[請求項8] 予測された到着時間になったときに、利用者の認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録し、

予測された退出時間になったときに、前記認証データを記憶装置から削除する

請求項 7 記載のデータ管理方法。

[請求項9] 施設を利用する利用者のデータを管理するコンピュータに適用されるデータ管理プログラムであって、

前記コンピュータに、

前記利用者の施設への到着時間を予測する到着時間予測処理、

予測された前記到着時間を基準に、前記利用者の認証に用いられる

認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録する登録処理、

前記利用者の前記施設からの退出時間を予測する退出時間予測処理、および、

予測された前記利用者の前記退出時間以降に、前記認証データを前記記憶装置から削除する削除処理

を実行させるためのデータ管理プログラムを記憶するプログラム記憶媒体。

[請求項10]

コンピュータに、

登録処理で、予測された到着時間になったときに、利用者の認証データを外部装置から取得して、ローカルの記憶装置に登録させ、

削除処理で、予測された退出時間になったときに、前記認証データを記憶装置から削除させることを特徴とするデータ管理プログラムを記憶する

請求項9記載のプログラム記憶媒体。